

「きみは書誌学を知っているか」

文学部 比較文化学科

渡瀬 淳子 (WATASE Junko)

みなさん、本は好きですか？好きですよ？好きだということでも話を進めます。さて、本には情報としての本と、モノとしての本の二つの見方があります。情報としての本というのは主に本の内容を見るもので、モノとしての本というのは、文字通り物体としてどのような姿形をしているかということを見ます。古典研究の場合は時に古典籍の実物を調べる必要があり、そういう時には何が書かれているかということも勿論大事なのですが、紙は何を使っているか、装丁はどうなっているのか、印刷か手書きか、筆跡はどうか、など、モノとしての側面も非常に重要になってくるのです。

例えば、装丁。縦長で袋綴になっている本をよく見かけますが、これが作り物語の本なら、簡易装丁です。作り物語の豪華本は一縦長のこともありますが一枱形といって正方形に近く、紙の両面に書写できる綴葉装になっていることが多い。本の大きさも大事です。今のB5サイズ以上の本は「大本」と呼ばれ、大きい本ほど格式が高い。大きなサイズの本はそれなりに「格」を意識した造本なのです。誰のために何のために作られたのか気になりますね。ちなみに、一番格式の高い装丁は卷子(巻物)です。紙も大事です。楮紙が一般的ですが、ツルツルした感触の厚手の紙が使われていることも。これは雁皮紙、卵に質感が似ているので鳥の子とも呼ばれます。これは高級な紙で、厚みがあって両面に書写できます。

安価な楮紙は後ろの墨が透けてしまうので、両面には書けません。なので袋綴にするわけです。表紙にも色々な種類があります。紙が一般的ですが、豪華な錦が貼ってあることも。これはやはり格式を意識した装丁です。茶道具からの影響だと言われているですね。となると、この表紙が付いたのは江戸時代になってからでしょうか。

こうした外形的なことと書かれている内容を総合的に見て、ようやくその本がどういう本かがわかるのです。勿論、例外も一杯あるし、むしろ教科書通りの本はないと言ってもいいでしょう。それがまた、楽しいのですが。こうした、モノとしての本を追求する学問を「書誌学」といいます。

物を正しく見るというのはとても難しいことです。人は見たいものを見てしまう生き物なので、何事も正しく見るには訓練がいります。普段はあまり馴染みのない「書誌学」の世界、ちょっと覗いてみませんか？今年も書誌学の専門家、慶應義塾大学斯道文庫の佐々木孝浩先生をお招きして書誌学講座を開催します。詳しくは図書館のお知らせを確認してください。楽しいですよ！



ほかにイベント目白押し★

～今年もやります！北九大図書館の読書月間～

【秋の読書フェス 2024】

期間：10/25(金)～11/22(金)

今年もたくさんのイベントを予定しています！！

○ビブリオバトル 10/26(土) 13:30～

全国大学ビブリオバトル 2024 北九大予選会

○ブックトーク 11/1(金)

オススメ本の語りを聞いてみませんか？

○書誌学講座 11/21(木)4限 11/22(金)2限

慶應義塾大学 斯道文庫 佐々木孝浩先生をお招きして書誌学講座を開催します。貴重な原資料に触れることができるまたとないチャンスです！！

詳細は次ページのポスター、

図書館からの[お知らせ](#)をご覧ください。

2024年度書誌学講座開催のお知らせ

本学所蔵の貴重資料を用いた書誌学講座を開催します。
講座は学生向けと教職員向けに分かれており、本学所属の方ならどなたでも参加できます。
参加をご希望の方は各申込フォームよりお申込ください。

【学生向け】

今回の講座では、本学所蔵の『源氏物語』を対象として、和本（日本の古典籍）を研究に利用するための基礎知識についてお話しします。時間の許すかぎり原資料にも触れていただきたいと思います。

参加対象：本学学生・大学院生

日時：11月21日（木）4限（14:40～16:10）

会場：図書館本館1F 図書館ホール

定員：15名 ＊先着順。若干の増減可

申込締切：11月14日（木）

＊定員を超えた場合は期限前に締め切ります

＊講座の内容については多少の変更がある場合がございます

<お申込みQRコード>



【教職員向け】

本講座では、日本の古典籍（和本）を対象として、取り扱いや見方のポイントを学びます。和本を整理し、目録を作成する際に必要となる知識について、できるだけ具体的にお話しします。写本にも言及しますが、主に版本を中心とした内容です。

参加対象：本学教職員（職種は問いません。どなたでも歓迎です）

日時：11月22日（金）2限（10:40～12:10）

会場：図書館本館1F 図書館ホール

定員：15名 ＊先着順。若干の増減可

申込締切：11月15日（金）

＊定員を超えた場合は期限前に締め切ります

＊講座の内容については多少の変更がある場合がございます

<お申込みQRコード>



《お問合せ》

文学部 比較文化学科 渡瀬 淳子 e-mail:jwatase@kitakyu-u.ac.jp

1 社会の出来事の報道や評論を、広い読者を対象に伝達するための定期刊行物。

2 「新聞紙(しんぶんし)」の略。

3 新しく聞いた話。新しい話題。ニュース。

「当時流行の訳書を読み世間に奔走して内外の一を聞き」 <福沢・学問のすゝめ>

図書館で見れます

やっぱ新聞と言えばコレでしょ！ **新聞原紙**

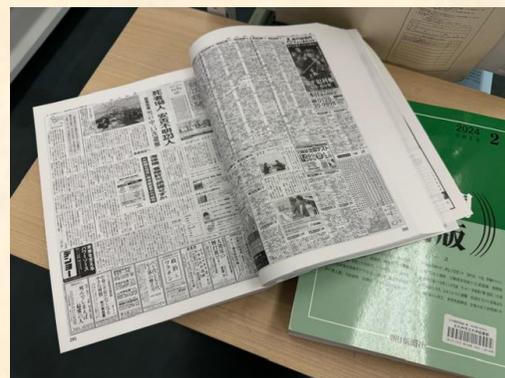
紙の新聞です。新聞紙の新聞。北九大図書館では本館1階LCの奥マンガコーナーの手前に最新の新聞を置いています。

(日刊) 読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・西日本新聞・日本経済新聞・産経新聞・The Japan Times

(日刊以外) 週刊福祉新聞・週刊図書新聞など



そのニュースの取り扱いは大きさは掲載時のインパクトがわかるのは実際の新聞と、ひと目でページ全体を見渡せる縮刷版
ちっぽり原紙なんだなあ
よむき



電子べんりだよ
紙面掲載のイメージも
見れるし印刷もできるよ

「ニュースをどこで知りますか？」

ニュースはネットで見るという人が多いかもしれませんが。確かに多くのニュースが無料でオンライン公開されています。SNSでもたくさん流れてきます。では、そのニュースは誰が書いたのでしょうか？

誰が書いたのか、という点は、新聞はハッキリしています。新聞社の記者が取材して書いた記事を、新聞社が責任を持って掲載しているからです。ソースが分かっている情報と言えるでしょう。情報を仕入れるとき、不確かな情報は避けたいですね。

ネットに流れている情報は手軽に見ることができます。ただ、信頼できる情報とは言えないことも…。情報の正確さを考えたとき、新聞に掲載されているニュース記事は身近で出どころが信頼できるものなのです。



手軽で便利！ オンラインで読める新聞

学内で図書館HPにアクセスすると、
新聞のデータベースにログインできます

図書館HP⇒「探す・調べる」⇒「データベース・電子ジャーナル」
⇒ **新聞記事検索**

学内者限定



- 朝日新聞クロスサーチ【朝日新聞】
- 毎索毎日新聞【毎日新聞】
- ヨミダス【読売新聞】
- 日経テレコン【日本経済新聞】【日経産業新聞】

【日経流通新聞MJ】【日経金融新聞】

※ 日経テレコンは図書館内の専用端末のみでの利用です

図書館HP⇒

SNSの情報は新聞社の記事をリポストしているものも多いわん
そのなかにはコピーして編集されているものも…
いつ誰が書いてどこが出した記事なのかを
確認してから利用をお願いします！



北九大図書館 <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>
www.kitakyu-u.ac.jp/ib
北九大図書館 <https://ib.kitakyu-u.ac.jp/>

新聞原紙は大きくて保管が難しい…

過去の新聞は
縮刷版で!!

新聞縮刷版…縮小印刷した新聞を1ヶ月分ずつ冊子にしたもの。
図書館の南書庫1Fにあります。

朝日新聞<縮刷版> 1942-1944、1948、1965、1967-2024年
日本経済新聞<縮刷版> 1956-2024年 などなど…

ボクの推し新聞は『The Japan Times』!
英語で書かれた日本の記事を読めるわん
1897年に伊藤博文の支援で創刊された
歴史好きのボクにもなんか刺さる新聞なんだわん





よむけんのお仲間たち

(図書館サポーターのページ)

～ よむけんクエストⅡ 開催! ～

7月14日・15日に本学で開催したオープンキャンパスと合わせて、去年に引き続き、私たち図書館サポーターが主催の館内回遊型イベント『よむけんクエストⅡ』を行いました。両日もあいにくの雨でしたが、多くの方に参加していただくことができました。イベントの参加者には、グッズ班のオリジナル缶バッジやしおりを景品としてお渡ししました。とても素敵な景品たちで私も欲しいな…と思いながら参加者の方へ景品をお渡ししていました。



私は去年からイベント班として準備を行っていますが、今年も皆様にお楽しみいただけるような素敵なイベントになったと思います!今回のイベントを通して、参加者の方とはもちろん普段あまり関わることのない班の学生とも関わることができ、とても楽しかったです。来年もお楽しみに!!

(地創2年 吉牟田)



今回は「学校」が舞台になっている図書館サポーターおススメの一冊を紹介するわん!



『一瞬の風になれ』

第一部 -イチニツイテ-
第二部 -ヨウイ-
第三部 -ドン- 佐藤 多佳子 著

(講談社/図書館所蔵有
請求記号:913.6/Sa85/1-1 1-2 1-3)

サッカーで挫折した主人公が陸上で自分の長所を見出していく姿に感動します。「自分には才能がない」と卑下したり、「自分には何か光るものがあるのかもしれない」と思った途端失敗したり、心情の変化がリアルでとても没入して読んでしまいます。ザ・部活の本です!

(文4年 今村)

『キケン』

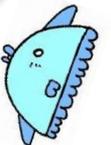
有川 浩 著

(新潮社/図書館所蔵有
請求記号:913.6/A71)



主人公が入学した大学には「機械制御研究部」通称機研(キケン)が存在。そのサークルは、部長を筆頭とした癖のある部員たちが行う犯罪すれすれの製作物や実験により学内一有名で恐れられていた。そんな理系男子たちの黄金時代を描く青春物語「キケン」。青春時代の熱量を浴びたい人におすすめの一冊です。

(外1年 田中)



編集後記

今年も北九大図書館 秋の読書月間がやってきます。図書館内では一足早くトショカンチャのポスターがお目見えしていますよ。今号 p.1でお知らせしている他にもいろんなイベントで盛り上げていきます。ぜひ足を運んで、参加してくださいね!(図書館員 伊崎)

北九州市立大学図書館

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1
TEL:093-964-4403 FAX:093-964-4437
e-mail:lib-2@kitakyu-u.ac.jp

■開館時間■

月～土曜日:午前8時55分～午後9時30分
日・祝日:午前10時～午後6時
休館日等は館内やHPの開館カレンダーをご確認ください。
URL:https://www.kitakyu-u.ac.jp/lib/

北九州市立大学図書館
図書館だより No.210

■発行日■

2024年10月

■発行者■

北九州市立大学
情報化推進課